

東日本大震災津波からの復興と岩手県の男女共同参画について

岩手県環境生活部若者女性協働推進室

1 計画に見る男女共同参画

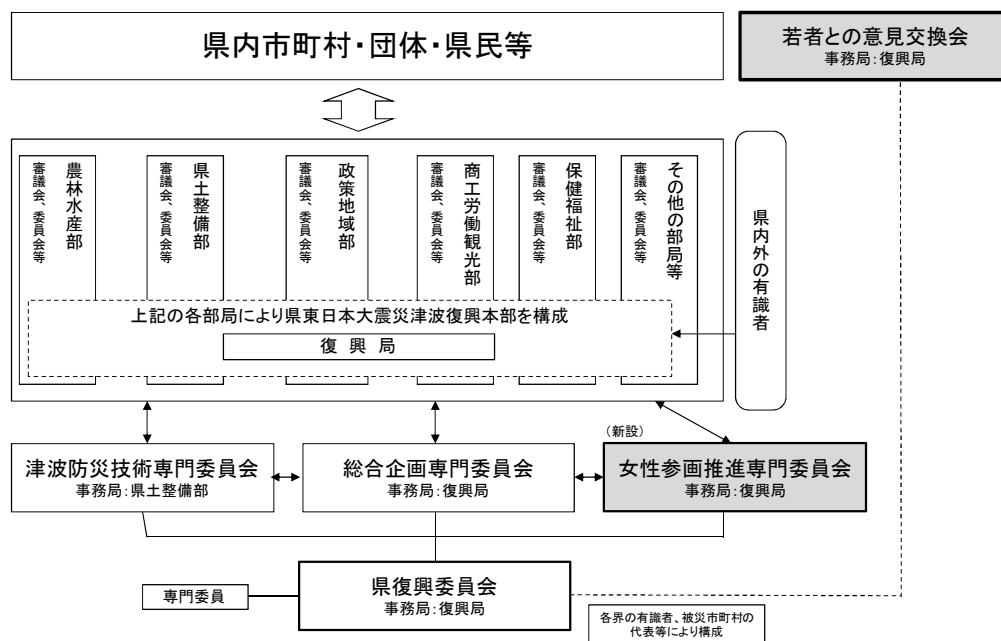
岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画（第2期）（平成26～28年度）

○ 計画を進めるに当たって重視する視点

「本格復興」を目指す復興実施計画（第2期）では、地域の住民一人ひとりが主役となるとともに、多様な復興主体が連携しながら、地域社会の持続性を重視した取組を進めていくことが重要であると考え、「参画」、「つながり」、「持続性」を重視し、復興の取組を進める。

参画	若者・女性をはじめとした地域住民の幅広い参画により復興の取組を促進
つながり	多様な主体が連携して活動する相乗効果により復興を加速
持続性	地域資源の発掘・活用など地域社会の持続性を重視した取組を推進

○ 計画の推進体制



2 東日本大震災津波に対応した男女共同参画の取組

（1）復興計画策定等における女性の参画について

ア 岩手県東日本大震災津波復興委員会における女性の登用について

① 「委員」への女性の登用について

平成28年11月1日現在、4名の女性が委員として登用されている。

- ・公益社団法人岩手県看護協会会長 及川 史智子 氏
- ・国立大学法人岩手大学副学長 菅原 悦子 氏
- ・特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会会長 瀬川 愛子 氏
- ・公益社団法人岩手県栄養士会会長 福田 禮子 氏

② 「専門委員」への女性の登用について

平成 26 年 11 月 1 日現在、2 名の女性専門委員が登用されている。

- ・東京大学社会科学研究所教授 大沢 真理 氏（平成 25 年度から）
- ・株式会社まちづくりカンパニー・シープネットワーク 代表取締役、都市計画家
西郷 真理子 氏（平成 23 年度から）

イ 東日本大震災津波からの復興に係る意見交換会の開催と提言への対応について

県内の様々な分野で活躍している女性の方々と、復興実施計画（第 2 期）素案について意見交換を行った。（復興局主催）

- ・開催月日：平成 26 年 1 月 9 日（木）
- ・会場：エスポワールいわて
- ・出席者：女性団体関係者（12 名）・復興局など県関係課職員
- ・岩手大学の菅原副学長が取りまとめた「4 つの提言」が出席者の総意として県に提言された。

社会的包摂の視点を踏まえた「参画」による復興に向けて
～復興実施計画（第 2 期）策定にあたっての 4 つの提言～

- ① 女性の参画 30%を確実に
- ② あらゆる関係者への研修を
- ③ 女性相談・女性の起業支援等事業の継続支援を
- ④ ジェンダー統計の徹底を

この提言を受けて、復興局総務企画課総括課長と青少年・男女共同参画課総括課長の連名で、岩手県沿岸市町村復興期成同盟会関係市町村担当部長に対して、参考とされるよう通知した。

ウ 復興委員会女性参画推進専門委員会について

復興における女性参画の推進に係る観点から調査・分析・提言等を行うため、平成 26 年 4 月に、岩手県東日本大震災津波復興委員会内に有識者からなる女性参画推進専門委員会（委員 13 人）を設置した。

【会議の開催状況】

- 第 1 回 平成 26 年 7 月 11 日（金）
- 第 2 回 平成 27 年 3 月 16 日（月）
- 第 3 回 平成 27 年 7 月 10 日（金）
- 第 4 回 平成 27 年 12 月 21 日（月）
- 第 5 回 平成 28 年 3 月 16 日（水）
- 第 6 回 平成 28 年 7 月 15 日（金）

氏 名	役職等	備考
菅原 悦子	国立大学法人 岩手大学 副学長	委員長
盛合 敏子	岩手県漁協女性部連絡協議会 会長	副委員長
赤坂 栄里子	岩手県歯科医師会 理事	
大沢 伸子	岩手県商工会女性部連合会 副会長	
神谷 未生	(一社)おらが大槌夢広場 事務局長	新任
木村 由佳梨	(一社)子どものエンパワメントいわて 総務企画課長	新任
佐々木 敦代	(特非)wiz 理事	新任
高橋 弘美	J A岩手県女性組織協議会 会長	
手塚 さや香	釜石リージョナルコーディネーター協議会	新任
平賀 圭子	(特非)参画プランニング・いわて 理事長	
藤澤 美穂	岩手医科大学助教	新任
村松 文代	株式会社アイビーシー岩手放送 報道局アナウンス部・報道部 専任部長	
山屋 理恵	(特非)インクルいわて 理事長	
両川 いずみ	(特非)いわて子育てネット 副理事長兼事務局長	

エ ワーキンググループの設置と開催状況

上記専門委員会の下部組織として、ワーキンググループを設置し、女性参画による被災地のなりわいの再生について議論し、平成 28 年 3 月に調査報告をまとめ、専門委員会に報告した（ワーキンググループは平成 28 年 3 月までの設置）。

第 1 回 平成 26 年 11 月 6 日（木）

第 2 回 平成 26 年 12 月 17 日（水） 現地調査

第 3 回 平成 27 年 2 月 20 日（金）

第 4 回 平成 27 年 10 月 30 日（金） 現地調査

（２） その他の復興に向けた県の取組について

ア 男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業について

沿岸地域において、男女共同参画の視点からの防災・復興に関する講演会及びワークショップを行うことにより、防災や復興に男女共同参画の視点を持って取り組む地域住民等を増やし、もって復興が加速することを目的とする。

【平成 25 年度（9 月補正予算措置）】

① 日程 平成 26 年 1 月～平成 26 年 2 月

② 場所 沿岸部 4 カ所（大船渡市、釜石市、宮古市、久慈市）

③ 参加者 地域住民、男女共同参画サポーター、市町村職員、社協職員、県職員等 129 名

④ 内容

ア) 講演 東京大学社会科学研究所 大沢真理教授（大船渡会場）

岩手大学男女共同参画推進室 堀准教授（釜石、宮古、久慈会場）

イ) ワークショップ 内閣府職員（釜石、宮古会場）復興庁職員（久慈、大船渡会場）

【平成 26 年度】

- ① 日程及び場所 平成 26 年 9 月 24 日（水）一関市、平成 26 年 10 月 29 日（水）大槌町
- ② 参加者 地域住民、男女共同参画サポーター、市町村職員、復興支援員、県職員等 74 名
- ③ 内容
 - ア) 講演 岩手大学男女共同参画推進室 堀准教授
 - イ) ワークショップ 復興庁職員

【平成 27 年度】

- ① 日程及び場所 平成 27 年 11 月 25 日（水）、滝沢市、12 月 18 日（金）陸前高田市
 - ② 参加者 地域住民、男女共同参画サポーター、市町村職員、復興支援員、県職員等 60 名
 - ③ 内容
 - ア) 講演 岩手大学男女共同参画推進室 堀准教授
 - イ) ワークショップ 復興庁職員
- 対象者：地域住民、男女共同参画サポーター、自治会役員、生活支援員、市町村職員、社協職員、県職員等

イ 岩手県男女共同参画センター事業について

- ① いわて男女共同参画フェスティバルにおける復興に関する分科会の開催
 - ・ 24 年度 シンポジウム「3.11 から共に歩んでいく復興」
 - ・ 25 年度 講演「被災地の子どもの現状と家庭支援」
講演「3.11 から学んだこと～わたしたちができること～」
 - ・ 26 年度 事例発表・意見交換「悩んでいませんか？復興まちづくり」
(復興庁男女共同参画班との共催)
 - ・ 27 年度 パネルディスカッション「語っぺし おらほの復興 ～ボランティアにも男女共同参画の視点を～」 (復興庁男女共同参画班との共催)
 - ・ 28 年度 ワークショップ「いまこそ」みんなで考える復興と男女共同参画
(復興庁男女共同参画班との共催)
- ② 男女共同参画サポーター養成講座において、防災・減災に関する講座を一般にも公開して開催し、男女共同参画の視点からの復興・防災について学ぶ機会を提供した。

【平成 25 年度】

「復興・減災における男女共同参画～災害時になぜ女性の視点・参画が必要なのか」
東日本大震災女性ネットワーク 運営委員・研修コーディネーター 浅野幸子さん
世話人 丹羽雅代さん

【平成 26 年度】

「復興・減災における男女共同参画」
減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、プロジェクト・コーディネーター
浅野幸子さん

【平成 27 年度】

「復興まちづくり～男女共同参画の視点から」
復興庁男女共同参画班 主査 石原浩樹さん
ジェンダーアクション・プラットフォーム理事 高橋聖子さん

【平成 28 年度】

「岩手の復興・防災」

復興庁 復興推進参与 田村 太郎さん、男女共同参画班

- ③ 東日本大震災からの振り返りと女性の視点で今後の復興や防災を考えるため、男女共同参画センター職員が沿岸被災地に出向いて、女性とのトークディスカッションや健康体操等を行い、被災者との交流を図るなどの活動を行った。

- ・ H24. 2. 8 (水) 山田町中央公民館 (トークディスカッションと映画上映会)
- ・ H24. 5. 26 (土) 宮古水産高校第 2 グラウンド仮設住宅集会場
(トークディスカッションとタオル体操)
- ・ H24. 7. 15 (土) 大船渡市山馬越仮設住宅等 (国際交流と仮設住宅訪問支援)
- ・ H25. 2. 11 (月) 宮古市重茂 (トークディスカッションと映画上映会)
- ・ H25. 3. 16 (土) 釜石市昭和園仮設団地等 (おしぼりを用いた花づくり、講演会)
- ・ H26. 2. 11 (火) 大船渡市 (男女共同参画の視点から岩手の復興と未来を考える講演会)
- ・ H26. 2. 23 (日) 陸前高田市 (映画上映会とトークディスカッション)
- ・ H27. 1. 18 (日) 盛岡市アイーナ (大船渡津波伝承館館長の講演会等)

ウ 内閣府 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業について

内閣府男女共同参画局において、東日本大震災による女性の様々な不安や悩み、女性に対する暴力に関する相談事業を、全国の N P O や男女共同参画センターなどの相談員を派遣し実施しており、本県では全国で最も早い平成 23 年 5 月 10 日から実施されている。

県では本相談窓口の周知等について協力を行っている。

【相談件数】

H23. 5. 10～H24. 2. 10	(3 拠点)	705 件
H24. 2. 11～H24. 3. 31	(4 拠点)	322 件
H24. 4. 1～H25. 3. 31	(4 拠点)	1, 283 件
H25. 4. 1～H26. 3. 31	(2 拠点)	1, 376 件
H26. 4. 1～H27. 3. 31	(2 拠点)	407 件
H27. 4. 1～H28. 3. 31	(1 拠点)	236 件